

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 5月19日（日）

木々の芽吹きが美しく、風もさわやかに感じ、心も体も行動的になれる季節です。自然体験や社会体験などを通し、家庭のふれあいを深め、心身の発達を促しましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

『絆』で結ばれている「治田の子ども見守り隊」

前千曲市青少年補導委員会副会長 青木 秀男

私達、治田小の「治田子ども見守り隊」は年間200日以上毎日約10～15人位が登下校時、自発的に「見守り活動」をしております。治田小の校長先生・先生方からもご支援を頂いております。学校・児童・保護者・地域の皆さんとは「絆」信頼関係で結ばれております。これも10年以上続く「見守り隊活動」の実績です。

昨年の夏は、異常気象で猛暑・酷暑でしたが、特別な事情がない限り「見守り活動」を実施してきました。子ども達の「安心・安全」を最優先に使命感をもって「やりきり」しました。時には、熱中症寸前の時もありました。子ども達も下校時には、額に汗がびっしょりで気の毒になりました。今年は異常気象、大きな災害がなければと祈る次第です。ボランティア活動には体力が必要です。これからの時代を担う子ども達を立派に育てるのは、私達、高齢者の責務と私自身は考えます。世の中、高齢化が進み「見守り活動」の担い手が不足する現状ですが、一人でも多くの方が、健康管理に気を付けて、奉仕の精神で自ら率先して子ども達の登下校時の「見守り活動」にチャレンジしてみてもと提言します。

登下校防犯プランによると、子どもの犯罪被害は下校時の午後3時～5時に集中。私達の願いは、「子どもが安心して学校に通い、地域で学べる環境をつくりたい」です。そのための方策は「大人が買物時間や草むしりの時間を、児童の登下校時間に合わせるなど、一人一人が見守り活動をすることができないか」と考えます。私自身、千曲市少年補導委員としての役割と治田小「子ども見守り隊」の活動は、基本的には、子ども達の「安心・安全」を守る共通の使命があると信じて日々実践してきました。これが、強い「絆」から生まれた私の「信念」です。スローガン「元氣」「勇氣」「やる氣」で頑張ろう。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 悩み事抱えず気持ち伝えよう —

## ～ 4月の定例補導委員会より～

4月10日に、平成31年度の千曲市少年補導委員会総会ならびに4月の定例補導委員会が開催され、本年度より、鷹野芳正様が補導委員として委嘱され、次の事項等について協議・連絡を行いました。

### 1 総会において

○平成31年度千曲市少年育成センター事業指針（案）協議と承認

千曲市少年育成センターでは、関係機関との連携を進める中で、家庭や地域の理解や協力を得て街頭補導強化、環境浄化活動の推進、相談活動、家庭教育活動の充実を図り、また、温かな心を持つての「愛のひと声かけ」活動を積極的に行い、より一層の青少年に対する安全確保と健全育成の向上にむけて取り組んでいく。

○青少年補導委員会の役員の決定

○平成30年度事業報告及び会計報告の承認 ○平成31年度活動計画及び事業計画の承認

○感謝状の贈呈

### 2 定期補導委員会において

○3月の補導活動を振り返って

○4月～6月の補導日程、および「育成センターだより」の編集について



## 補導日誌から



### 更級小学校PTAとの合同補導～ルールを守って楽しく遊ぼう！

3月18日（月）3:00pm～5:00

白鳥園では子供達がバドミントン・お絵かき・ボール遊びをしていました。自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しており、楽しく遊んでいる様でした。「水と緑と潤いのある公園」では子供の姿はありませんでした。更級の各地区内を細かく巡回しました。若宮公民館の遊具で2人の子供が遊んでいましたが、ほかの公園等では、子供達を見かけませんでした。

### 上山田小学校PTAとの合同補導～田植えの頃の用水に注意！

3月18日（月）3:00pm～5:00

公園等で遊んでいる児童・生徒はほんのわずかで、保護者と来ていたり、特に問題になる行動は見られませんでした。補導委員さんより「現在はそれほど注意しなくてもよいが、田んぼの田植えの頃に用水路の水かさが増し、危険」との話がありました。いろいろな場所の確認事項をよく心得てくださっていて、スムーズに行ってくることができ、ありがたかったです。

### 屋代小学校PTAとの合同補導～交通安全を心がけて

3月19日（火）3:00pm～5:00

衛生センター広場には人影なし。最近はこので遊ぶ子供は少なくなりました。縄を張ってからだと思えます。前は、子供達が立入禁止のところに入り、登ってはいけないうちに上り、大騒ぎをしていました。遊ぶ子がいなくなりよかったです。高崎製作所のそばの道路に最近歩道ができました。この歩道にあるミラーが高い壁で見えにくいです。車、自転車の方はカーブミラーを見ますが、子供達は見えないので、止まって左右をよく見て渡るよう指導したいと思います。

ふれあい公園や中央公園では、天気のよいこともあって、たくさんの子供達が遊んでいました。小学生に声をかけると、元気に挨拶をかえしてくれました。中3の子供達がいましたが、特に問題の行動はしていませんでした。

### 埴生中学校PTAとの合同補導～最後の休みを楽しんで

3月20日(水) 3:00pm~5:00

新しくできた道路と並行して旧道があります。バイクが通ることもあり、心配している箇所として、周辺状況の確認を行いました。状況の確認中でしたが、新道の向こう側を2人の女の子が自転車に乗って通り過ぎていきました。ながらスマホのようなので、声をかけ注意を促しました。

更埴中央公園では、2人の中学生がアクロバットの練習、3人の男の小学生がサッカー、キャッチボールをして休みを楽しんでいました。中3の女の子が3人自転車に乗って公園に入ってきました。歩くような速さで乗っていましたが、ノーヘルだったため先生に注意されました。素直な子供達で、先生と話した後は、大きなボールを使って中学生最後の休みを楽しんでいました。

### 屋代中学校PTAとの合同補導～ほほえましい生徒と先生

3月22日(金) 3:00pm~5:00

北風の吹く寒い曇りの空の日です。中学校からの心配場所の合同補導。職員の先生が、生徒との会話の中で生徒に慕われているなーとほほえましかった。2軒のカラオケ店では自転車があったが、どちらの店も中学生が大人についてきているそうです。先生、PTAとともに何もなくてよかったと喜び合っ

### 更埴西中学校PTAとの合同補導～立派な中学生になってね

3月27日(水) 3:00pm~5:00

公園内で親子(父親・長女・長男)3人が野球をしておりました。普段、なかなか見られない光景です。親子が楽しく野球をしている姿を見て童心にもどりたい気持ちになりました。

この4月から西中に入學する児童と4月から2年生(西中)男子の2人でサッカーをしていました。このことを先生に紹介すると、「4月から入學する〇〇です。よろしくお願ひします」と小さな声で挨拶しました。私からは、「一生懸命勉強して頑張りなさい」と励ましの声をかけてやりました。先生からも「待っているから」と優しく声をかけていただきました。本人もうなずいておりました。立派な中学生になってほしいと思いました。先生、PTAのお母さんも同じ気持ちだと思いました。

## 編集室の窓

### 親子の絆

子どもの頃、野球が大好きだった私は、よく家の裏の細い道や公民館で弟とキャッチボールをしていた。遊んでいると、父が「手伝いをしろ」と言ってくる。しかたないので、いやいやながら手伝いに行く。そんな昔のことを上記の更埴西中学校の合同補導の記事で親子3人が野球をしている姿から思い出し、うらやましいなとも思った。

でも、たまに父も一緒にキャッチボールをして、カーブの投げ方を教えてくれた。今でもその頃のことを鮮明に覚えているのは、一緒にやってくれたことが相当うれしかったのだろう。

「こうやって親子で一緒に遊ぶことって大事なんだよな。」

青木副会長は、『絆』がなければ子どもたちの健全な育成はなかなか得られないと書いておられます。特に親子の『絆』は愛情に支えられた強いもの。核家族が増えた昨今。親子の『ふれあい』を大事にしながら、『絆』を深めてくれるといいな。

口だけで子どもを動かそう(思うようにさせよう)と思っても、なかなかそうはいかない。一緒に遊びながら信頼を深めていけるといいな。そんな時、

『やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ』

山本五十六の言葉が頭をよぎる。

子どもたちが、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子どもたちには夢がない、と言われていました。そんな子どもたちが、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

ぼくのゆめは大工になることです。なぜかというと、おじいちゃんが大工をやっているからです。木をけずるきかいをつかえるのがすごいとおもいました。じぶんのおうちをたてたいです。いっぱいいえをたてたいです。

(2年 宮入 匠摩)

わたしのゆめは、くすりをつくることです。りゆうは、かぜをひいたときにくすりをので、早くなおったからです。くすりをつくって、がんをなおして、いろんな人をたすけたいです。

(2年 宮本 悠菜)

ぼくのゆめはケーキやさんになることです。どうしてかというマイクラというゲームでケーキをつくるのがあって、つくるのがたのしいからです。いちごののったケーキをつくりたいです。かいにきた人が「おいしい、おいしい。」と言うケーキをつくりたいです。うるまえにおかあさんにたべてもらいたいです。

(2年 齊藤 颯空)

わたしのゆめは、おいしゃさんになることです。わたしは、人のびょうきをなおしたいです。ねつやかぜをなおしてあげたいです。びょうきの人のうでにちゅうしゃもしてあげたいです。

(2年 阿部 妃音)

ぼくのゆめは、プロやきゅうせんしゅになることです。なぜかというやきゅうのボールをバットでうちたいからです。イチローせんしゅをテレビでみてなりたいたとおもいました。おとうさんが「がんばれよな。」といってくれました。

(2年 竹前 朝陽)

わたしのゆめはアイスクリームやさんです。どうしてかという、アイスクリームやさんにかいにいったときにレジやアイスのをのけるのがたのしそだったからです。ほいくえんからのゆめでした。アイスのをのけたりレジでおかいけいをやったりしてみたいです。

(2年 山崎 悠花)

ぼくのゆめは、こん虫はかせになることです。小さいときにかぶとむしをさわったことがあります。それですきになりました。虫のことをもっとしりたいです。はかせになったら、虫がきずついていないかみてあげたいです。

(2年 川原 一織)

ぼくのゆめは、けいさつかんになることです。りゆうは、けいさつかんはとてまかつこいいです。どろぼうをたいほしたいです。手じょうでどうやってつかまえるかをやってみたいです。

(2年 長門 龍星)